



『第9回熊取町公民館・町民会館整備検討委員会会議』

～第2回基本設計策定委員会～

■次第

- 議事事項1 基本設計（6／8時点素案）について
- 議事事項2 その他

■資料

- 資料1 熊取町公民館・町民会館整備におけるコンセプト
- 資料2 基本設計（6/8時点素案）
- 資料3 基本設計（4/30時点素案）への意見に対する考え方
- 参考 ホールの参考事例

2021年6月8日

『熊取町公民館・町民会館整備基本構想』
施設整備における基本コンセプト

すべての住民があらゆる場面で
出会い、学び、育ちあう、文化創造施設

- ① 「"やすらぎ"と"ほほえみ"のまち」の実現
- ② 住民が主体となり、あらゆる場面で出会い、学び、育ちあうための施設
- ③ 誰もが安全・安心に利用でき、効率的・安定的に運営できる施設
- ④ 各施設の機能の有効活用と施設配置の適正化

整備検討委員会での議論及び4/30素案
へのご意見から施設に求められること

- ・既存の活動団体の継続的な利用を担保
- ・町民交流の場を創出
- ・新たな利用者の獲得、新たな交流の創出
- ・質の高いホールの環境
- ・文化芸術活動の拠点づくり

施設づくりのコンセプト

人 ・ 活 動 ・ 文 化

まじわる

- ・新たな出会いや多世代の交流が生まれる場づくり
- ・活動や文化にふれる環境づくり

はぐくむ

- ・町民たちの学びの場づくり
- ・これまでの活動の発展、充実に加え、さまざまな活動が生まれる場づくり
- ・質の高い文化芸術を支える場づくり

つむぐ

- ・まちの担い手を育成する環境づくり
- ・いきいきとした活動が展開されるまちのにぎわいの拠点づくり
- ・人や活動が生み出すにぎわいが魅力的なまちを創出し、まちの未来へつむぐ

ホール

質の高い文化芸術活動の場

- ・日々の活動の成果発表の場としてふさわしい魅力的な空間づくり
- ・プロの演奏を鑑賞する場としての良質な音場環境づくり

活動の幅の拡張

- ・つながる空間で新たな出会いやさまざまな活動を創出
- ・まちとつながる開放的な空間

ひろば

屋外の活動スペース

- ・新たな出会いや多世代の交流が生まれる場づくり
- ・さまざまなイベントが開催でき、まちににぎわいをもたらすオープンスペース

出会い・交流

- ・建物内外をシームレスにつなぐしかけによって、新たな出会いと交流を創出

公民館

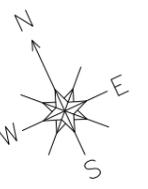
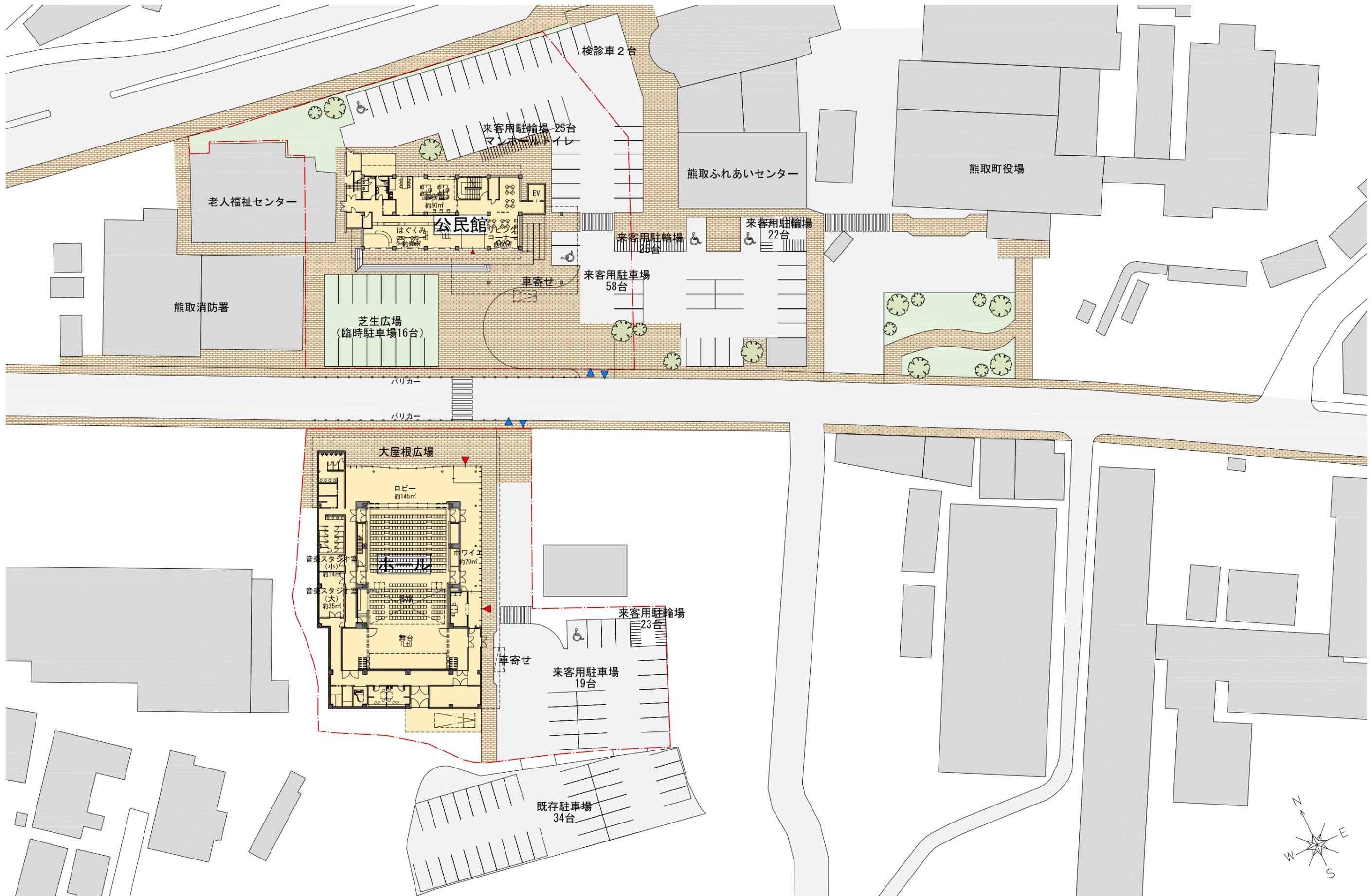
活動の場の充実

- ・活動室や設備の更新・充実による快適性の向上
- ・機能毎のフロアゾーニングによる利便性の向上
- ・可変可能な設えによる新たな利用者や活動の受け入れ

気軽に使える

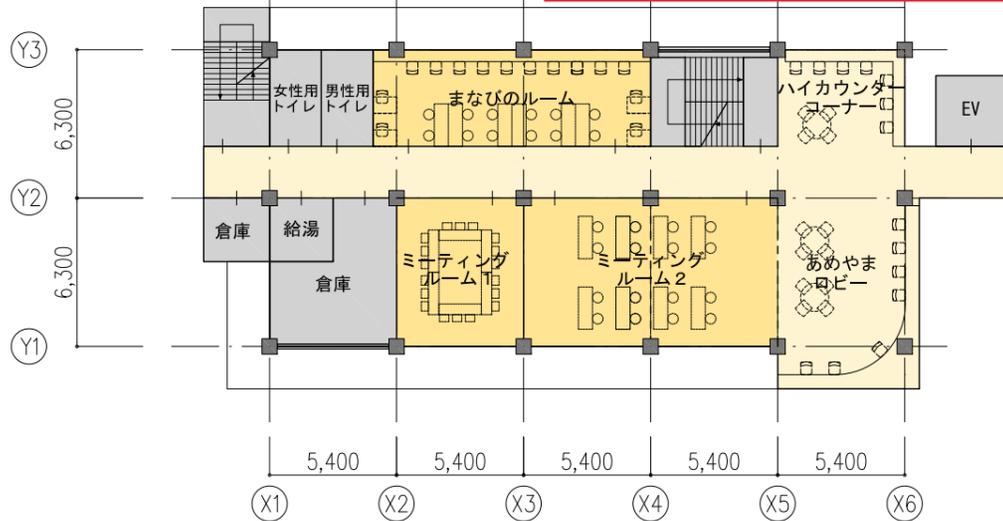
- ・開放的な空間により新たな出会いや交流を誘発
- ・心地よい居場所づくり



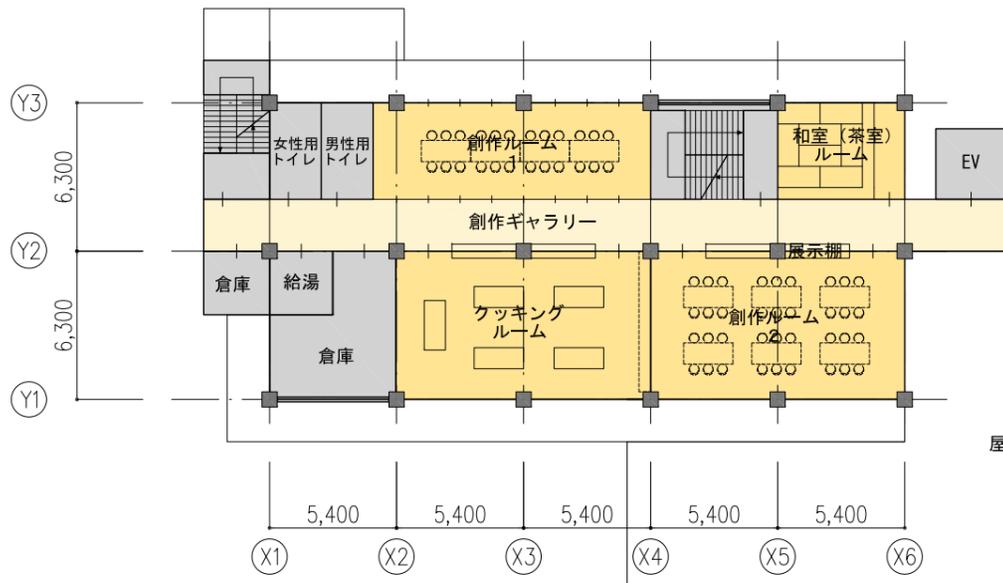


配置図兼1階平面図 S:1/600 (A3)

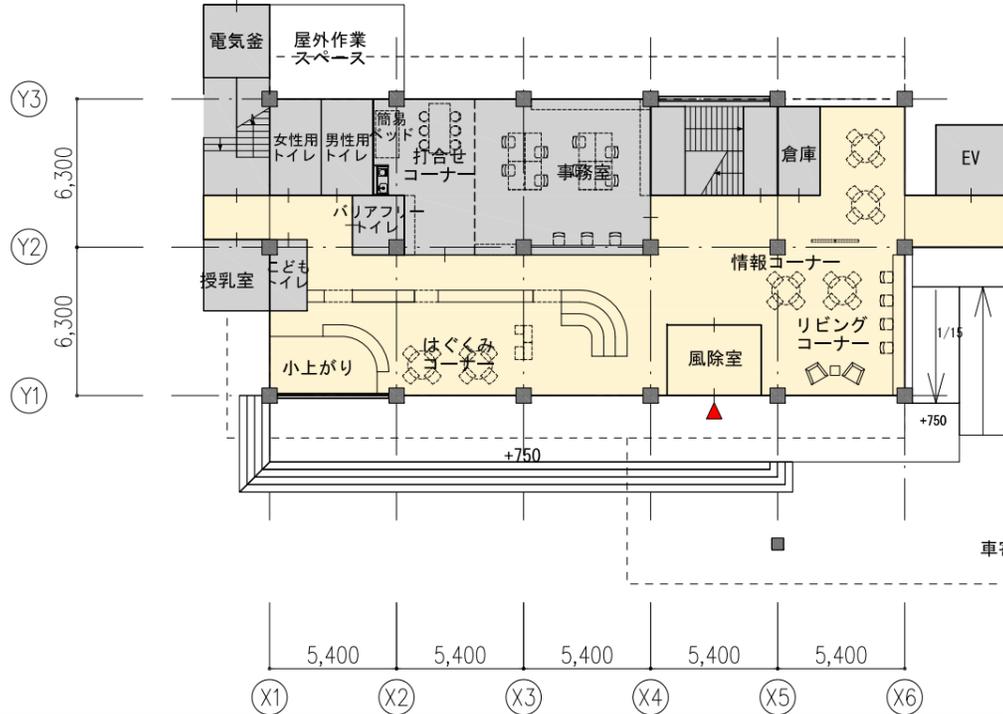
公民館平面図S=1:300 (4月30日時点)



3階平面図

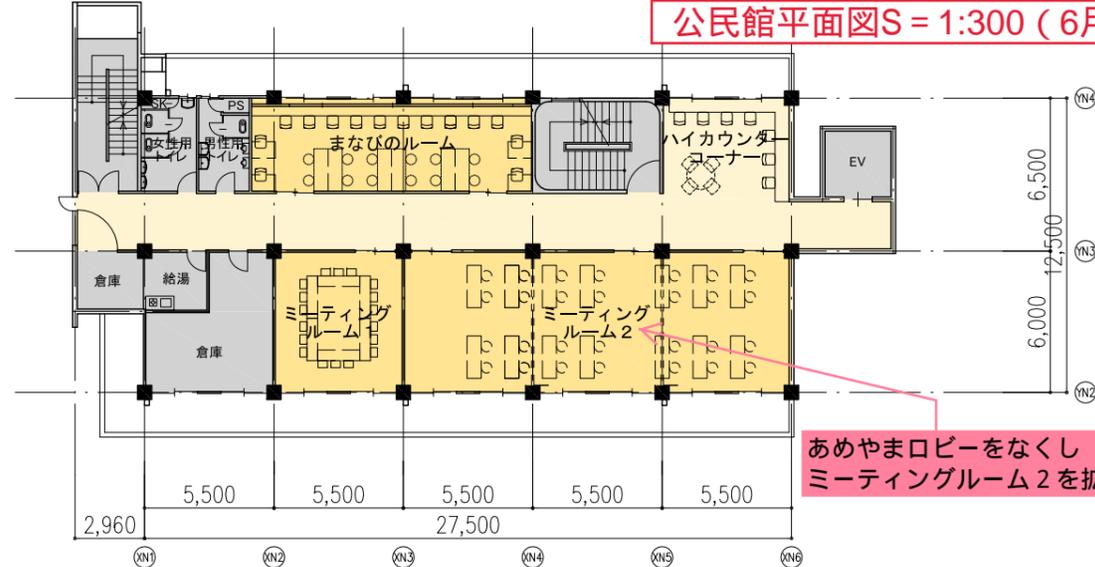


2階平面図

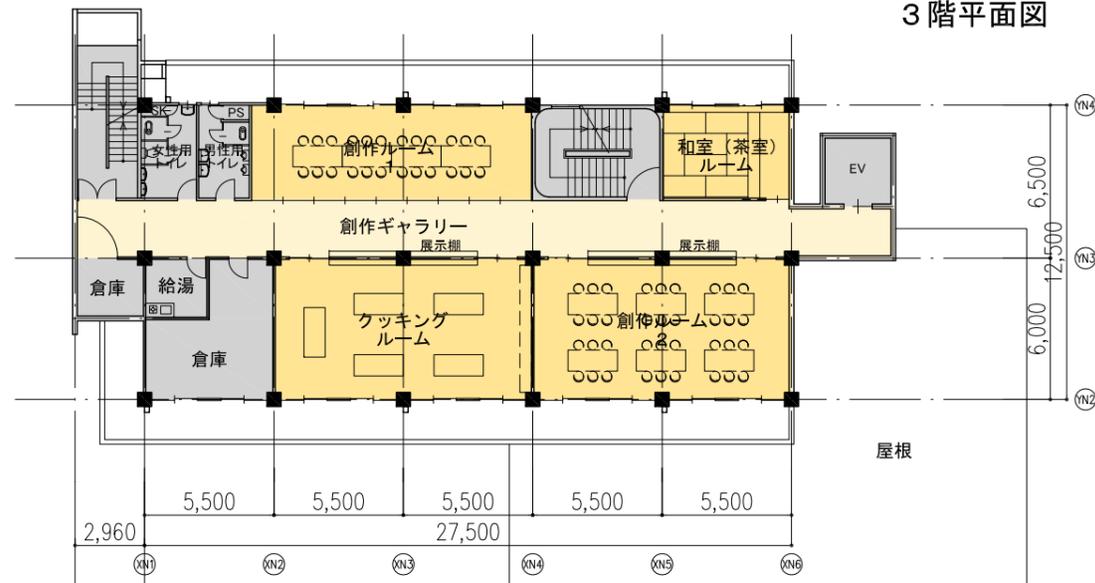


1階平面図

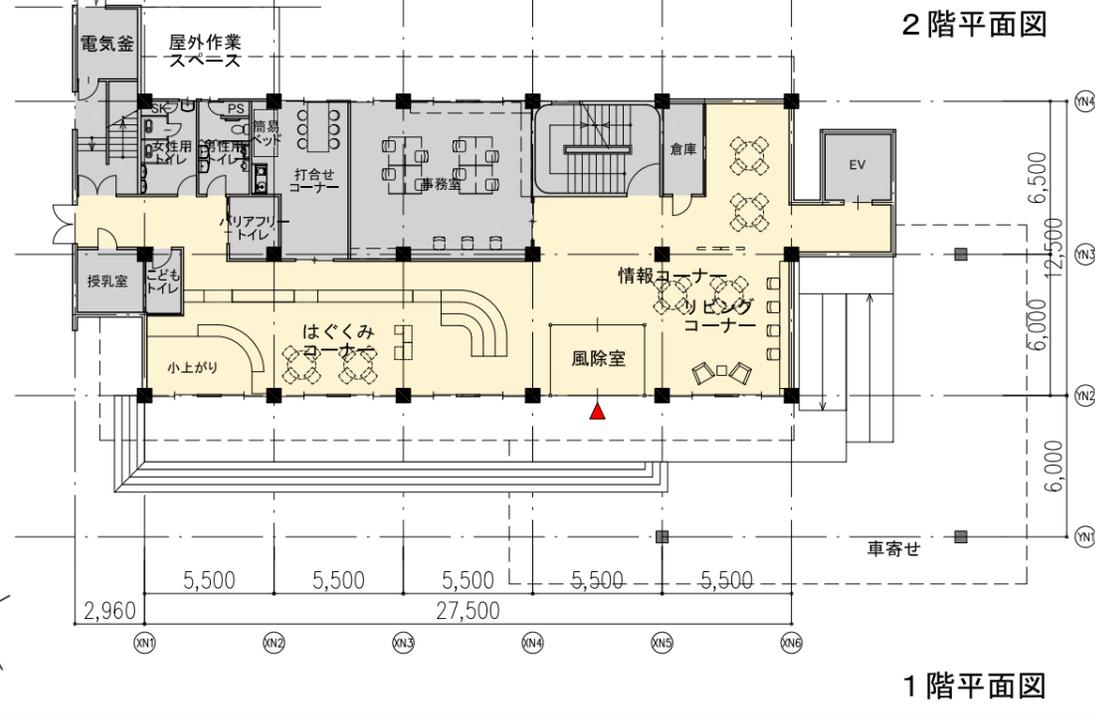
公民館平面図S=1:300 (6月8日時点)



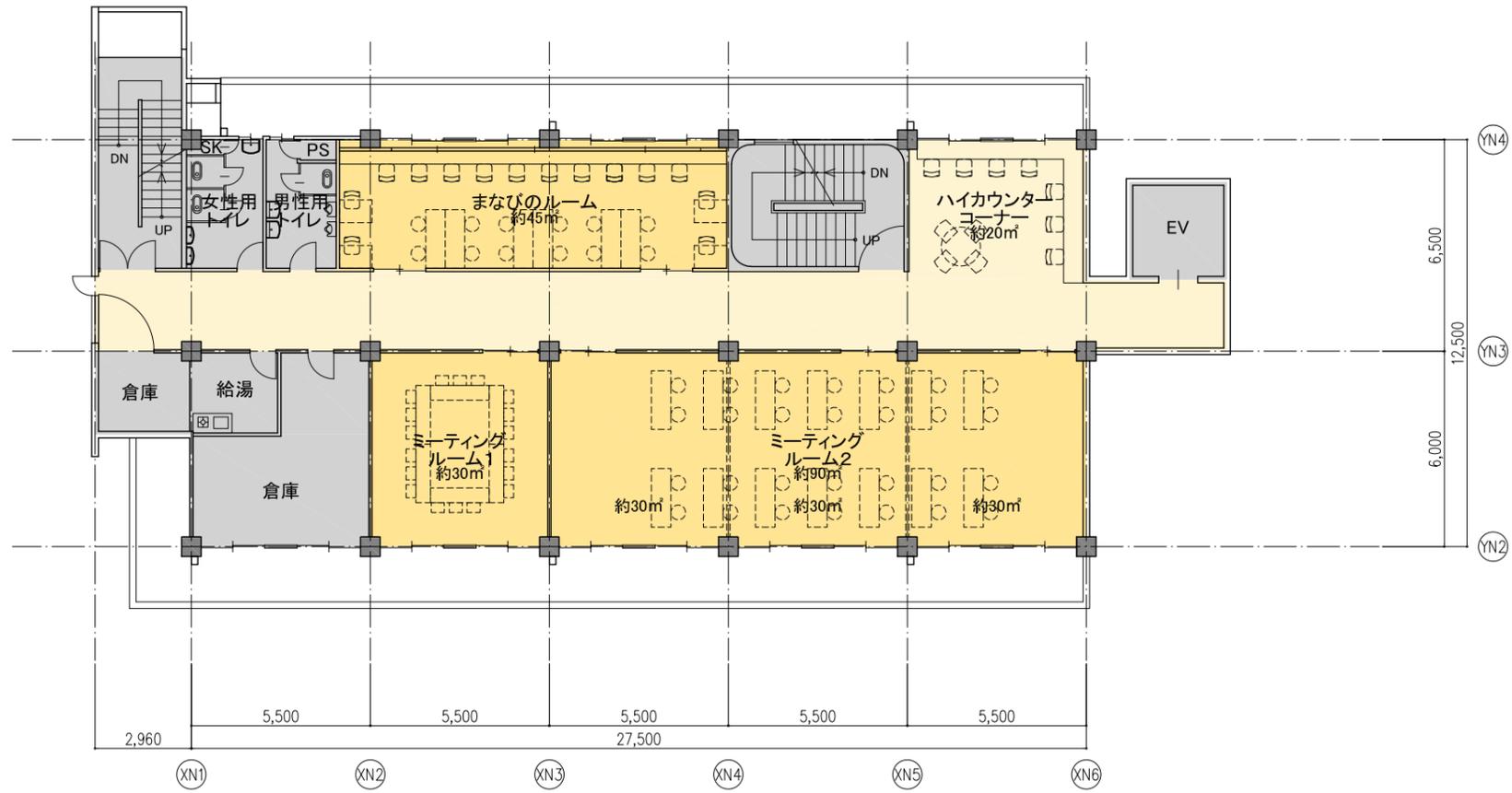
3階平面図



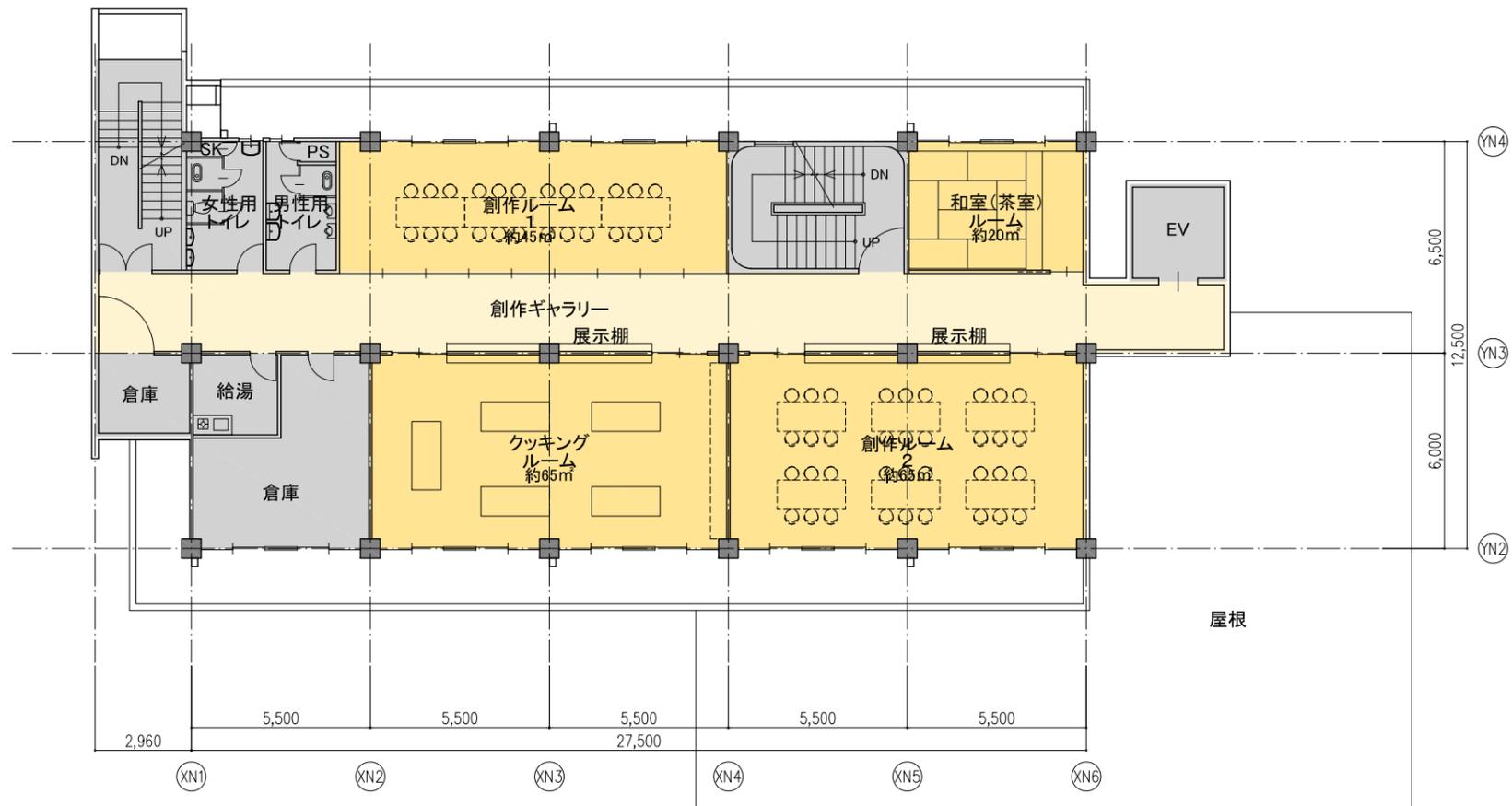
2階平面図



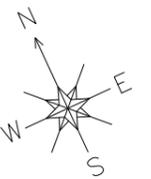
1階平面図

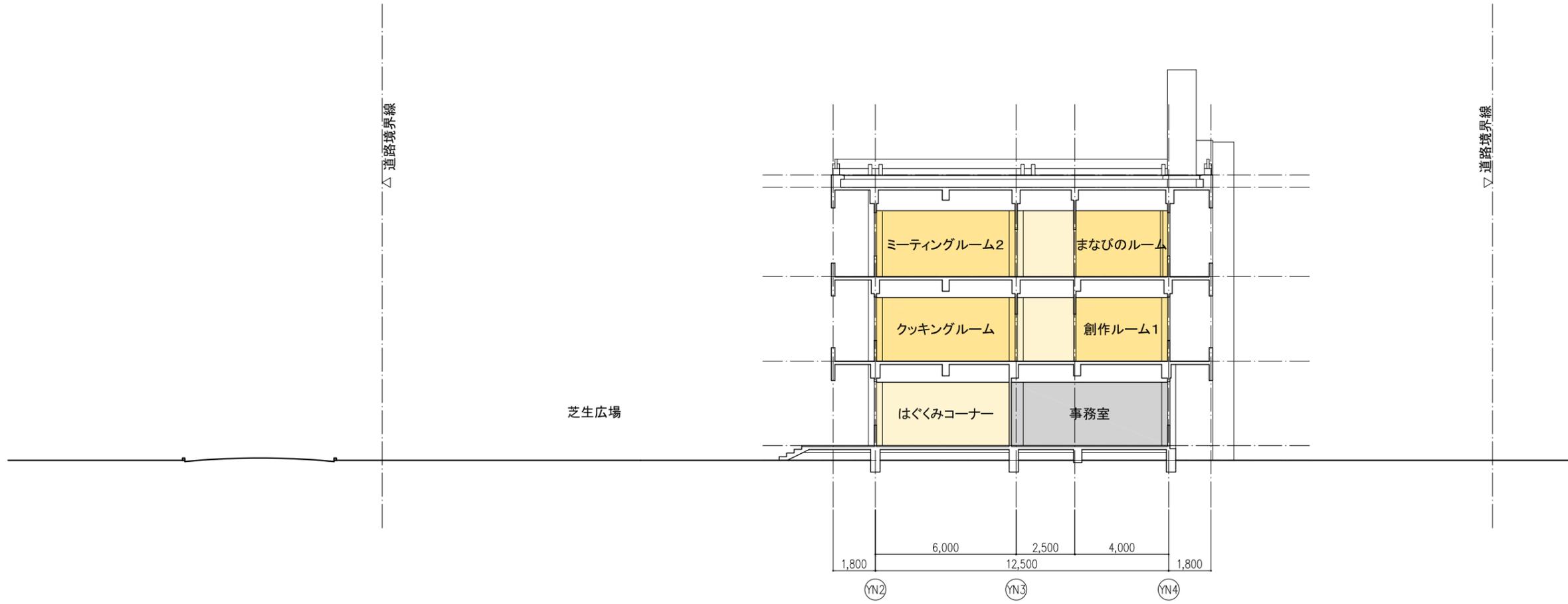


3階平面図

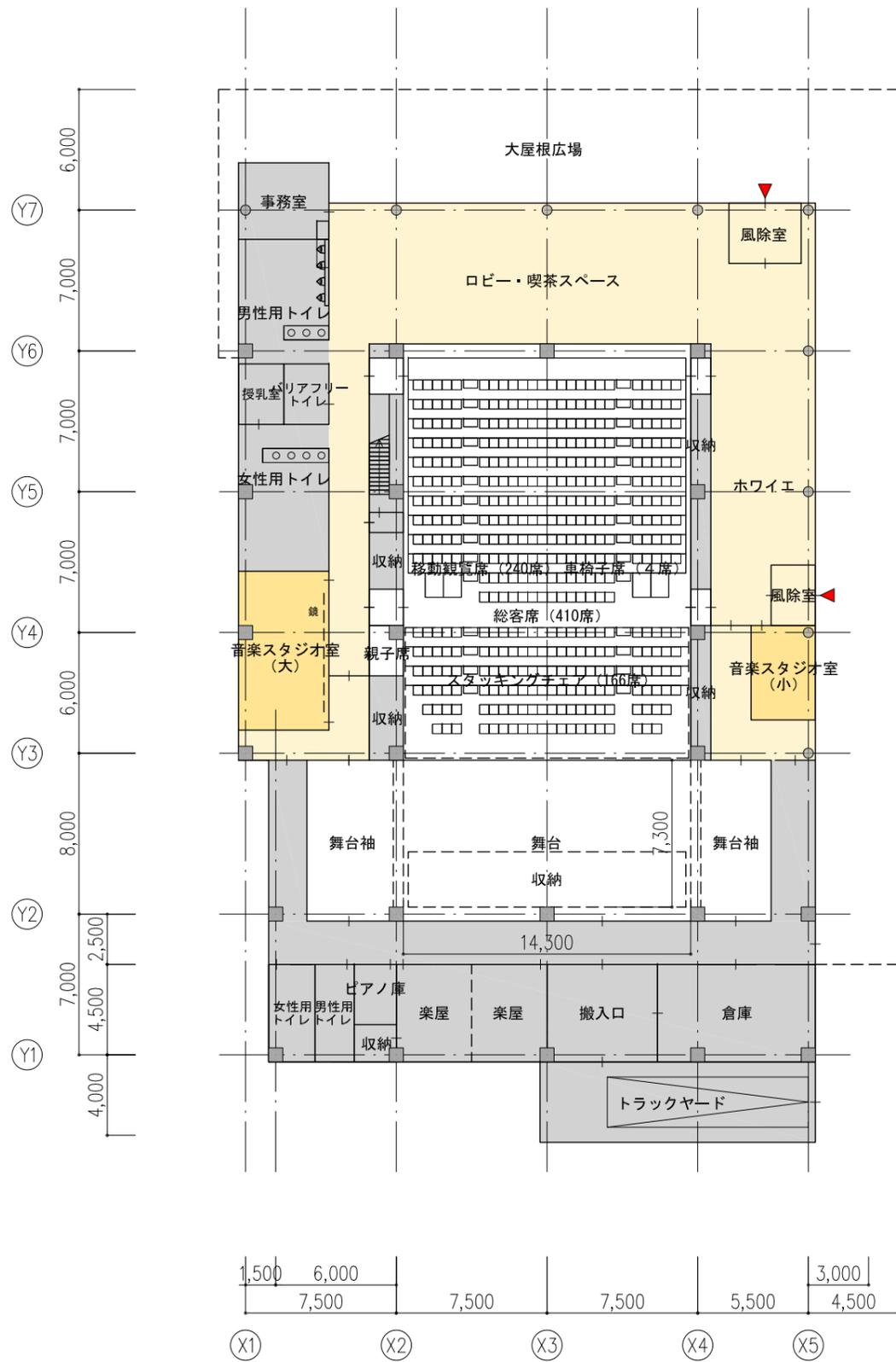


2階平面図

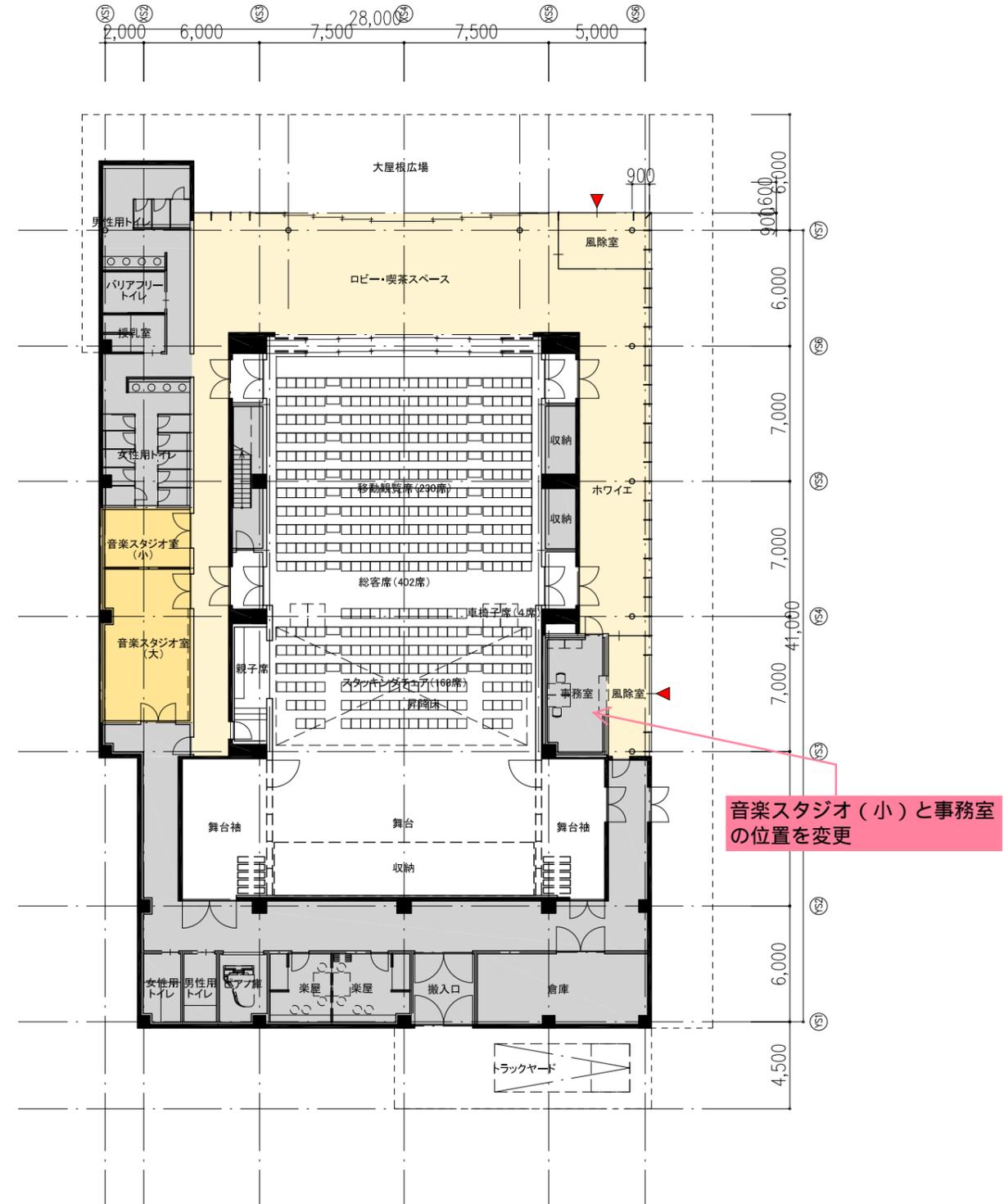




ホール平面図S = 1:300 (4月30日時点)

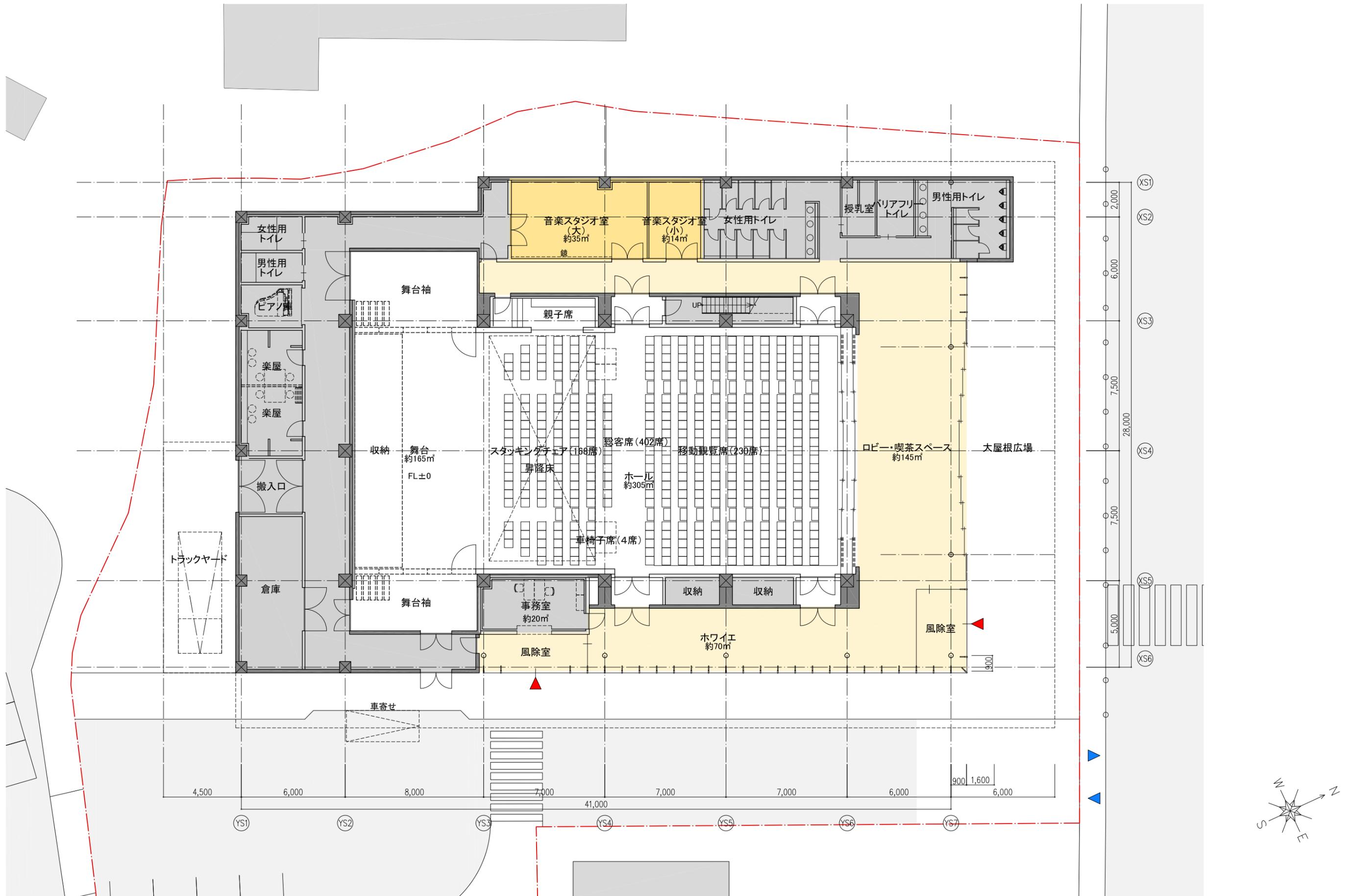


ホール平面図S = 1:300 (6月8日時点)

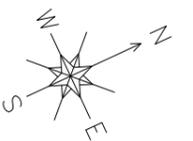
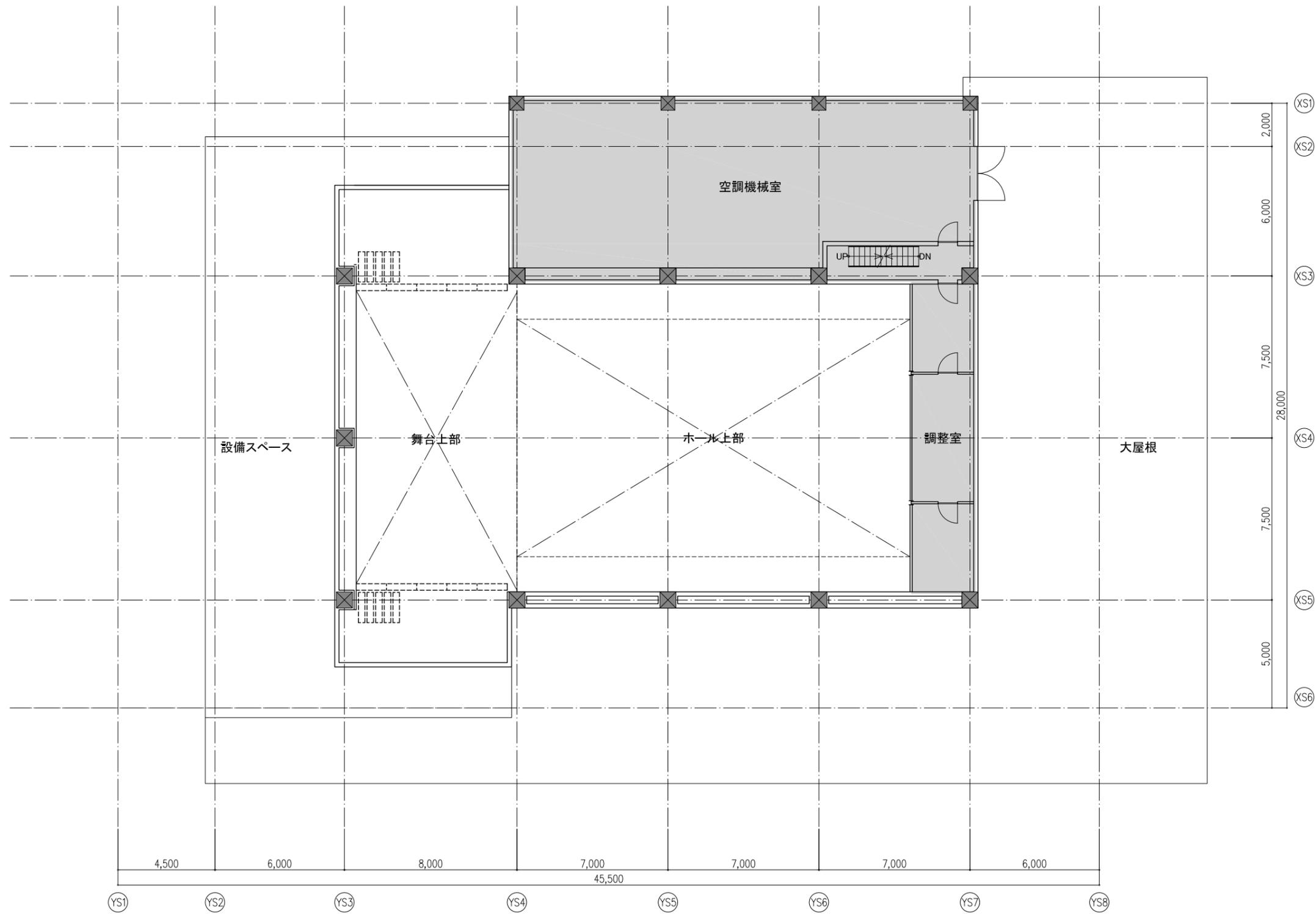


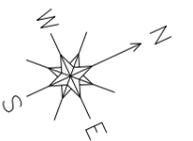
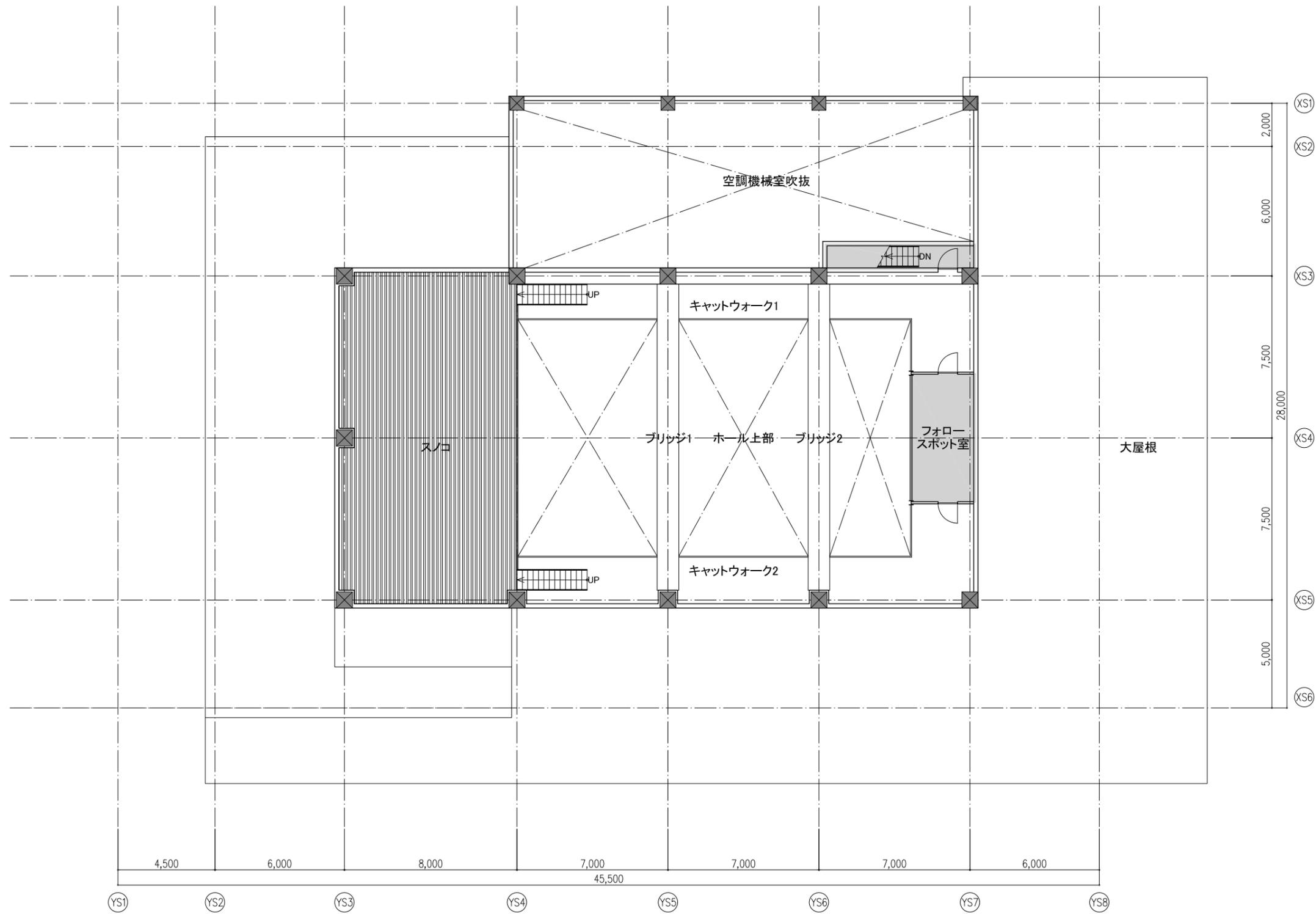
音楽スタジオ (小)と事務室の位置を変更

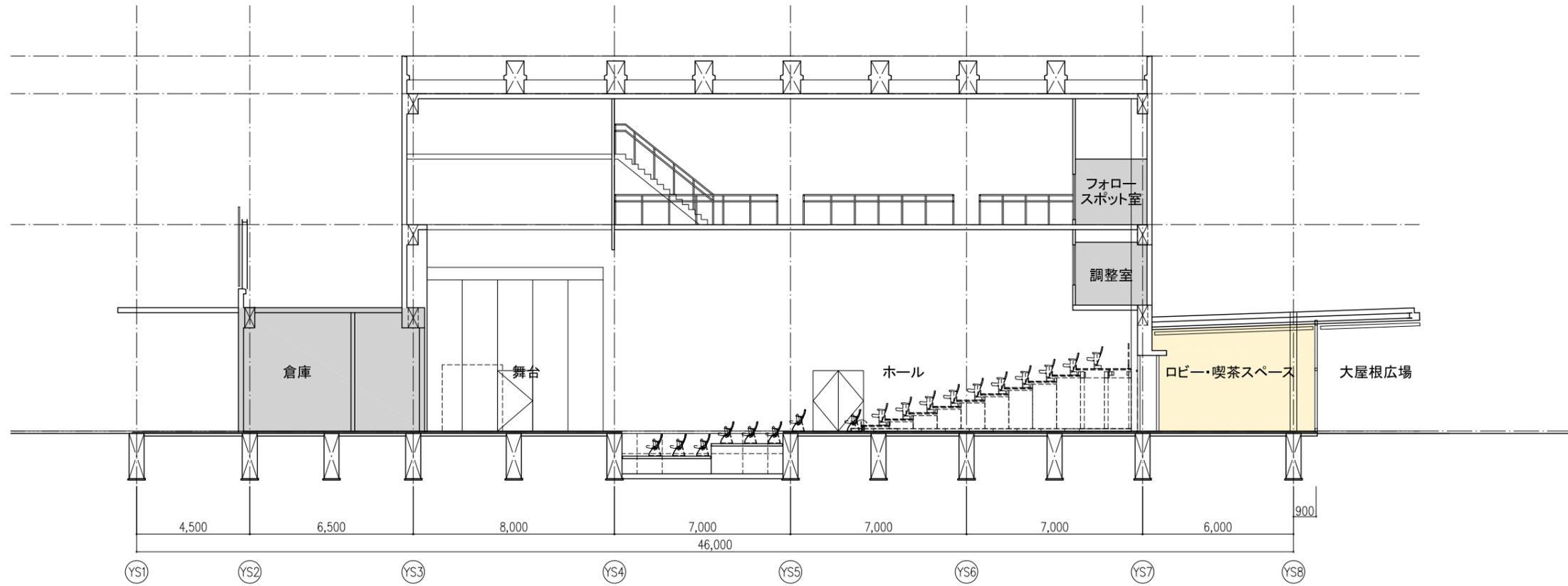
ホール1階平面図 S:1/300 (A3)



ホール1階平面図 S:1/200 (A3)







基本設計(4/30時点素案)への意見に対する考え方

		整備検討委員会委員からの意見	左記意見に対する株式会社アール・アイ・エー大阪支社の考え方
公民館・ホール共通		無断駐車されないような工夫が必要ではないか	・無断駐車されにくいよう、車路・駐車スペースの配置を検討します。
		公民館側とホール側の敷地の出入口が近く、車の出入り時に危険ではないか	・出入口付近の車路を歩行者用の仕上げに切り替えることで、速度抑制対策としています。
		駐輪台数をより多く確保できるようにしてほしい	・可能な限り確保できるよう検討します。
公民館		公民館は日常の文化諸活動の拠点であることから、以下が用途やレイアウトを決める上での大前提となる。 ・コロナ以前における利用実態を精査し、既存利用者の継続的な利用を担保すること(住民の共感を獲得することが前提条件) ・その点を前提として、これまでの公民館の成果と問題点を検証しつつ、利用における便宜の向上と高度化に資する内容であること。	・既存施設の利用者が継続利用できるよう配慮した計画とします。 ・また、より多くの方にご利用いただけるよう、利便性の向上や、付加価値の創出ができるよう検討します。
	1階	鍵や使用報告書の受渡時の工夫が必要ではないか(職員の人件費の抑制の観点)	・利用者の方の利便性も考慮し、効率的な施設運営の在り方について検討します。
	1階	作陶に使用する野外作業スペースは屋根付きにするとともに、講座で作成した作品(数十個)や道具(バケツ40個ほど)を乾かす棚を設置してほしい	・設置を検討します。
	1階	はぐくみコーナーと芝生広場を気軽に往来しやすいようにしてほしい	・出入りができるような扉の設置を検討します。
	1階	・公民館・ホールのキッズスペースを、公民館1階にはぐくみコーナーとして拡大・充実させ、子どもにとっても居心地の良い空間を整備することは良いかと思う。なお、ホールにキッズスペースを整備しないことについては、ホール事業での子どもの預かりが想定される場面(プロによる公演)をどれほど見込むかといった、整備後の運営と関係する。 ・はぐくみコーナーを含め、1階のオープンスペースは、多世代の地域住民による交流や、地域の人たちと一緒に子どもを育てるといった考え方においては、一定の話し声等が許容されるような、施設運営が求められる。	・ホールに親子席も配置する計画であるため、親子で公演等を鑑賞いただくことも可能だと考えております。また、限られた敷地内におけるホール全体の整備内容を考慮し、公民館1階に「はぐくみコーナー」として、小さい子どもと一緒に安心してご利用いただけるスペースの整備を考えています。 ・オープンスペースについては、多世代の地域住民による交流等を積極的に行っていただきたいと考えています。
	2階	倉庫に、作陶に使用する道具を保管させてほしい	・倉庫の使用方法については、施設の備品の保管量と併せて、各団体の利便性を考慮して検討します。
	2階	展示棚は、鍵を掛けることができるようにした方がよい	・設置を検討します。
	2階	クッキングルームの設備等についてよく検討し、充実させてほしい	・利用者が使いやすいように検討します。
2・3階	町民文化祭で絵画を公民館で展示できるように、ピクチャーレールを設置できないか。(現在は、公民館にエレベーターが無いため、町民文化祭の時に、公民館に展示していない)	・設置を検討します。	

※赤字は運営に関する熊取町のコメントです。

基本設計(4/30時点素案)への意見に対する考え方

	整備検討委員会委員からの意見	左記意見に対する株式会社アール・アイ・エー大阪支社の考え方
ホール	ホールは、公民館と異なり非日常のイベント型活動の拠点施設である。そこで展開される諸活動がその時限りの瞬間的なものであることもあって、とくに空間の質が諸活動のあり方に影響を与える側面が極めて強いことから、当該空間の利用目的を中心とするコンセプトの確立は決定的に重要である ・町内において住民が質の高い文化・芸術活動に触れる機会を享受でき、住民自らも主体的に活動に関わることの出来る「文化芸術活動の拠点」(「基本構想」)となり得るホールを建設する(ニーズの単なる集積による「多目的」=無目的で没個性的なホールとしない。多目的性は、独自コンセプトの確立と両立可能であるが、その逆は成り立たない ・ホールの外観及び周辺環境は、質の高い文化・芸術活動を象徴することのできる、メッセージ性の高いデザインのものであること	・基本構想や委員会での意見を参考に、本施設にふさわしいコンセプトを立案したうえで施設の検討を行っていきます。 ・立案したコンセプトを基に、文化・芸術活動を象徴する外観や周辺環境を検討します。
	事務室もホール全体の空間になじむような設計をお願いしたい	・ホール全体の空間になじむように配慮します。
	ホール上部の外壁のデザインや利用方法を工夫できないか(電工掲示、のぼり旗の設置等)	・建物上部は、周辺への圧迫感を軽減させるため装飾的な意匠や重厚感のある仕上げ材料は避けた外観としています。また視線を大屋根の下(活動の様子)に向けるために装飾は避けています。
	ロビーにソファを設置する計画であるが、ホール全体として、ソファ以外にも気軽に腰掛けることができるような工夫ができないか	・可動式の家具の設置を想定しています。
	事務室と入口(風除室)が遠い。一つの施設であったことから、連携がとれるようにと、この位置にしていると考えられるが、実際の運用を考えると事務所同士の連携を取るの難しいと思う。また、身障者用駐車場の位置、身障者の方がホールに来る際のサポートを考えると、事務所は音楽スタジオ(小)の位置の方が適切ではないか。(音楽スタジオを並べる配置)	・レイアウトの変更検討します。
	駐輪場の数が少ないような気がする。現状に加え配置するなら、来客用駐車場(19台)の北側のところはいかが。事務所の入口を移動させることにより、駐輪場も見ることができるのでは。	・可能な限り確保できるよう検討します。
	トイレの数は、プロの興業をどれだけ開催するかに関係する。(あのホールはトイレ少ないと思われるくらいが良い)	・空気調和衛生工学会の器具算定方法をもとに、算出された適正数を設定して計画します。

※赤字は運営に関する熊取町のコメントです。

基本設計(4/30時点素案)への意見に対する考え方

		町内活動団体からの意見 (9団体:水彩画1、手話1、書道1、ヨガ1、合唱4、卓球1)	左記意見に対する株式会社アール・アイ・エー大阪支社の考え方	意見提出団体の活動内容
公民館・ホール共通		現在の来庁者用駐車場の1台当たりの白線区画の幅が狭く、駐車時に隣の車との間隔に神経を使うので、現状よりも1台当たりの幅を広く施行をお願いしたい。	・1台あたりの車室幅を現状の2300mmから2500mmに拡大する計画としています。	水彩画
		公民館とホール間の横断歩道に信号機をつけてほしい(交通量が多く危険と感じる)	・関係各署と協議し、設置を検討します。	手話
公民館	1階	現在の公民館1階廊下にある、各クラブ用の「備品入れ小型ロッカー」は非常に便利良くて、有益に使っているので、今後も同様に設置をお願いしたい。	・2階の倉庫内に設置を検討します。 ・倉庫の使用方法については、施設の備品の保管量と併せて、各団体の利便性を考慮して検討します。	水彩画
	2階	創作ルーム 大きな書道作品を創作することもあるので、創作ルーム1より大きな部屋で活動したい(創作ルーム2でも活動したい)	・室の利用の制限を行っているわけではありません。創作ルーム2で活動していただいても問題ありません。	書道
	3階	防音設備になっているのでしょうか。(音楽や楽器を使用して練習しています。)また、プロジェクターやDVDなどが見れる機材の設置はしていただけるのでしょうか。	・既存施設の改修のため、(コスト上の制約もあり)公民館では遮音性能に限界があると考えます。可能であればホールを使用していただければと思います。 ・プロジェクターの設置を検討します。	手話
	3階	ミーティングルーム②に壁面鏡を付けて欲しい	・鏡の設置を検討します。	ヨガ
	3階	・ミーティングルーム②に関して、フロア使用の時、机や椅子を畳んで端に寄せるとスペースが狭くなるので、もう少し広い部屋が欲しい ・ミーティングルーム①と②の間の壁面を可動壁にして、①と②を合わせて使用出来るようにすれば、多くの利用に使えるのではないかとと思う	・あめやまロビーをなくし、ミーティングルーム2を拡張した計画としています。	
	3階	・ミーティングルーム②に関して、ピアノを常設し、合唱の練習ができるようにしてほしい ・ホールの音楽スタジオ(大)にピアノを常設し、合唱の練習も想定しているということであるが、音楽スタジオ(大)は面積が狭く、閉塞感が無いか気になる。また、ホール舞台上でも練習が可能ということであるが、音楽スタジオ(大)も含め、新築するホールは、使用料が高くなり、団体の負担が大きくなり、心配している。(減免団体ではなく、使用料を負担して活動している団体であるため) ・関連して、教育・子どもセンターの体育室は音の響きが良く、合唱にも適しているため、教育・子どもセンターの体育室にピアノを設置できないか	・ミーティングルームで合唱利用ができるよう検討します。	
	3階	ミーティングルーム①②関連 ・現在の素案において、ピアノが設置される場所は、ホール音楽スタジオ(大)とホール(グランドピアノ)だけです。これで、町内の合唱活動が全て行えるのでしょうか。公民館にも合唱練習の部屋は必要です。3階のあめやまロビーは無くして、ミーティングルーム②を広くし、防音設備をしてピアノを置いてください。	合唱	
	3階	合唱の練習場所の確保のため、3階のミーティングルーム②とあめやまロビーを一つの部屋にできるようにしてほしい。またアップライトピアノを設置してほしい。		
	1・3階	現存する合唱団体数から、合唱活動の拠点として少なくとも二箇所、練習可能な部屋の設定が必要 ・1階に100㎡程度のグランドピアノのある防音・残響に留意した練習室(例えば、貝塚中央公民館視聴覚室を参照) ・3階の南側の諸室を3部屋分を一つの空間として練習できるようにし、小さいグランドピアノ(最低でもアップライトとし、練習形態に合わせるので、移動可能にする。)のある防音・残響に留意した練習室(ガラスは困る。)を整備するか、教育子どもセンターの体育室に小さいグランドピアノを設置してほしい。(関連して、図書館のホールも一般貸出してほしい。) ※町内には合唱の練習ができる場所が驚くほど少なく、練習会場の確保に大変苦労し、本町における合唱活動をはじめとする音楽活動の発展・定着を長年にわたって強く阻害している。今回の対応の仕方によって、町内の合唱等音楽活動をますます衰退させていくことが、深刻に懸念される現状にあることを理解されたい。 ※熊取町文化振興連絡協議会に加盟していると、公民館の利用に特別な便宜が図られている。この状況は、全住民の施設であるはずの公民館の公平は利用において、予約の優先や会場費の格差が著しい不公平をもたらしているため早急な改革は不可欠。		
1～3階	新型コロナウイルス感染防止対策として、窓を開けて活動していますが、虫がたくさん入ってくるため、網戸を付けてほしい	・設置を検討します。	手話	

※赤字は運営に関する熊取町のコメントです。

基本設計(4/30時点素案)への意見に対する考え方

		町内活動団体からの意見 (9団体:水彩画1、手話1、書道1、ヨガ1、合唱4、卓球1)	左記意見に対する株式会社アール・アイ・エー大阪支社の考え方	意見提出団体の活動内容
ホール	舞台・諸室、バックヤード関連	舞台を広くしてほしい:間口15m、奥行き10m、高さ10~12m	・限りある敷地と事業予算の中で最大限確保した計画とします。(現状:間口13.65m、奥行き7.5m、高さ6m)	合唱
		舞台袖が狭くないか。演劇で場面交換するには、通常舞台の半分は必要	・限りある敷地と事業予算の中で最大限確保した計画とします	
		玄関ロビーを狭くして、舞台を充実し、舞台の奥行きをもっとってください	・ロビーでの日常利用の充実も大切だと考えていますので、限りある敷地と予算の中でバランスを取りながら最大限確保した計画とします。	
		音楽スタジオ(大)(リハーサル室)は、リハーサルをするには狭くないか。理想的にはリハーサル室は舞台と同じ広さが必要。同じでないなら場所の確認などリハーサルにならない場合がある。	・音楽スタジオのスペースを拡大する検討を行います。	
		コーラスやバンド演奏には、素早い交換や転換のために舞台のセリが欲しい。セリを平台で組むなら倉庫が狭くないか	・セリが設ける場合は仮設で設置する想定としています。	
		バックヤード:舞台の両袖が舞台裏でつながっていることが必要	・舞台裏の廊下を経由して両袖舞台はつながっております。	
		ピアノ庫:24時間、温度・湿度管理付きの部屋を、出し入れを考慮した場合、バックヤードに設置することが必要(スタンウェイ・ヤマハ・カワイのいずれかのコンサート用のグランドピアノを設置)	・バックヤードに専用のピアノ庫を設置しています。	
	音響、設備関連	ホールとロビーの仕切りに関して、ロールカーテンで仕切られても、音漏れがあるところでの使用はどうかと思う。仕切るなら音ができるだけ漏れないようにしてほしい	・音が漏れにくいように配慮します。	合唱
		音響面では、活動種類の違いに対応が可能な吊式音響反射版の設置が不可欠	・正面は固定式の反射板、袖は可動の反射板を設置する計画としています。	
		音響設備は職員が操作できるレベルも必要だが、せっかくホールを建てるならプロが入っても見劣りしない設備もほしい。またスピーカーの設置場所はどこか。音響設計のプロに依頼するのか。	・音響の専門家協力のもと、計画を検討していきます。	
		音楽関係の発表の場として利用できるように音響設備を充実してください	・音楽の発表の場として使えるよう設備を検討します。	
		照明設備や緞帳、袖幕等に関する記載がないが、考慮されているのか。	・音楽をはじめさまざまなイベントを想定し、適切に必要な設備を検討します。	
		音響・照明設備の方は、常駐の部隊担当者は配置されるか。	・ 新築するホールの設備に応じて検討します。	
	座席関連	ホール客席の移動観覧席は固定にしてください。座り心地が悪く、地震などの災害時、スムーズな避難ができません	・移動観覧席については、合唱以外にも運動関係の活動など、多目的利用を可能にするための設計であり、居住性や静音性に配慮して今後、実際に導入する移動観覧席を検討します。	合唱
		座席は固定として、一列ずつ半席分ずつ配置をずらすことが必要。座席をずらす配置は多くのホールで実現されている。	・敷地に限りがあるなか、400席の座席を確保する計画としています。	
	ガラスファサード関連	コンセプトとして屋外の活動のために大屋根にすることは理解できるが、ガラス張りにして中の活動が見えることは、演者・客ともに気が散るので(クラシックは特に)イベントを開催する側からするとやめてほしい。それにガラスで音響の効果を犠牲にしていることにならないか	・イベント時には閉鎖し、視線を遮ることで、ホールの内部の環境には影響がないと考えています。	合唱
		ロビー・ホワイエは、文化・芸術を鑑賞する場合に、ホール内の静かで落ち着いた環境と一体化した空間であることが重要。外部空間へのオープンアクセスを強調しすぎた提案では、せっかくのホール利用が損なわれる可能性がある。	・イベント時には閉鎖し、視線を遮ることで、ホールの内部の環境には影響がないと考えています。	
	その他	ロビーなどで、熊取の物産展の紹介などを行ってはどうか。	・ 町や様々な団体による多種多様な事業に有効活用していきたいと考えています。	卓球
		ホールに卓球台を常設してほしい。 ※教育・子どもセンターの体育室は、卓球台を3台した設置できなくて、狭い ※体育館での練習は断られる。(卓球含め、練習よりも試合を優先されている) ※運用を変更し、体育館で練習できるようになっても、使用料が高くなり負担が増えることを懸念している(現状は、教育・子どもセンターの体育室は、月4回まで無料で使用している。) ※卓球は、他競技と同時に練習することは難しい	・ホールは文化芸術活動の拠点施設と考えおります。体育館や教育・子どもセンターなどさまざまな活動で使用することや、他団体の活動を考慮し、卓球台の常設は難しいと考えております。	

※赤字は運営に関する熊取町のコメントです。

基本設計(4/30時点素案)への意見に対する考え方

	専門家(演劇・音楽)からの意見	左記意見に対する株式会社アール・アイ・エー大阪支社の考え方
ホール	演劇を行ううえで、舞台袖は広ければ広いほど良い	・限りある敷地と事業予算の中で最大限確保した計画とします
	プロの演劇を行うのであれば、専門スタッフは必要	・新築するホールの設備に応じて検討します。
	<p>・「時間・空間・建築」の概念を実際の建物にどの様に取り入れていくかは、この企画を提案し纏め上げていく立場の方の最も重要な部分であり、主たるコンセプトが読み取れないように思う。</p> <p>・どの様なアーティストのパフォーマンスを主にすべきか、受動的観客のニーズにどう対応するのか、さらに受動的観客が逆にアーティストになる可能性もある等を、その範囲を絞ってみることも一案かと思う。</p> <p>・企画者の明確なコンセプトは、ぶれの少ない文化施設のプロポーズができる。</p>	<p>・基本構想や委員会での意見を参考に、本施設にふさわしいコンセプトを立案したうえで施設の検討を行っていきます。</p> <p>・町民のハレの場として、またプロの講演など非日常を体感する空間及び環境を整備できるよう検討します。</p>

※赤字は運営に関する熊取町のコメントです。

ホール参考事例

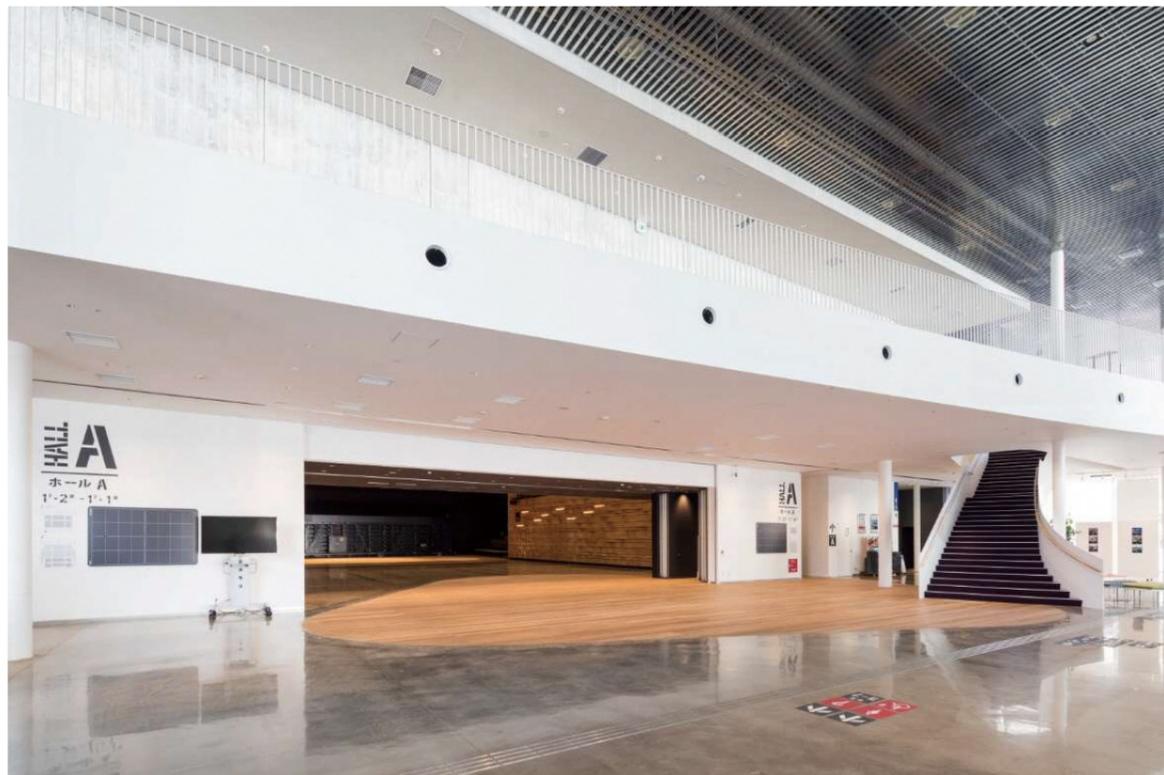
(1) 釜石市民ホール TETTO



移動観覧席の展開時



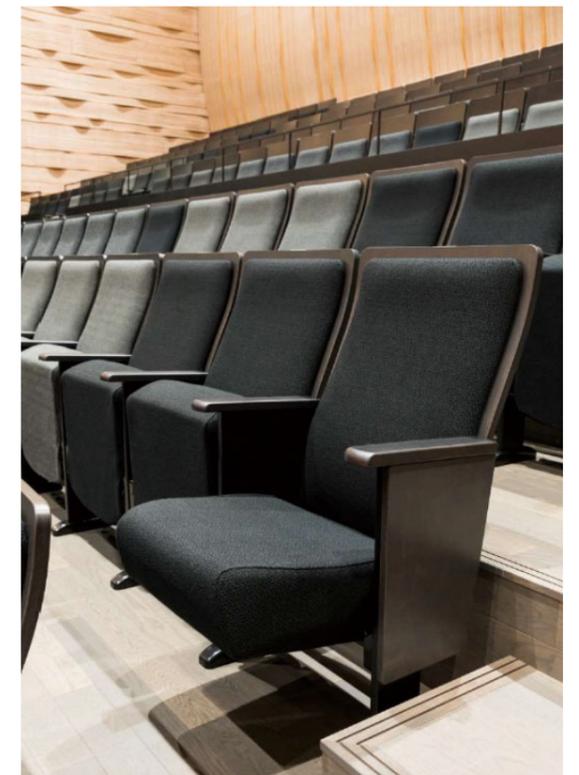
平土間利用（移動観覧席の舞台収納時）



ホワイエからホールを望む

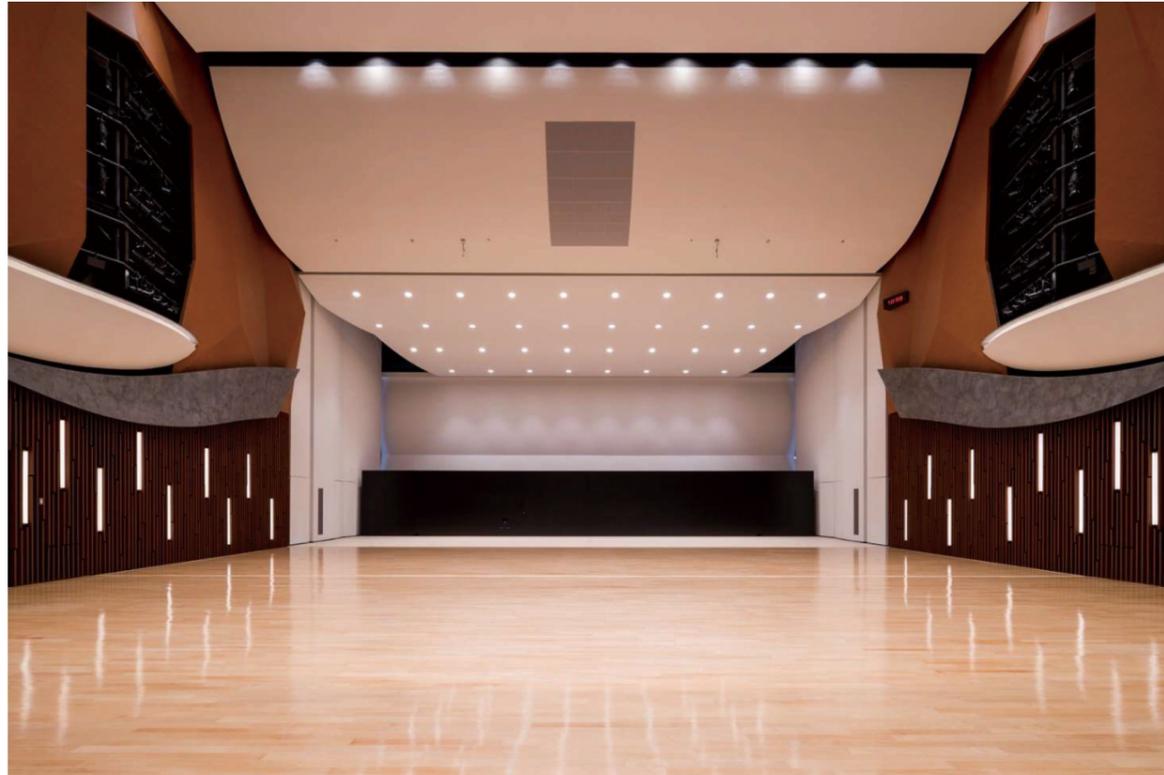


移動観覧席



固定席

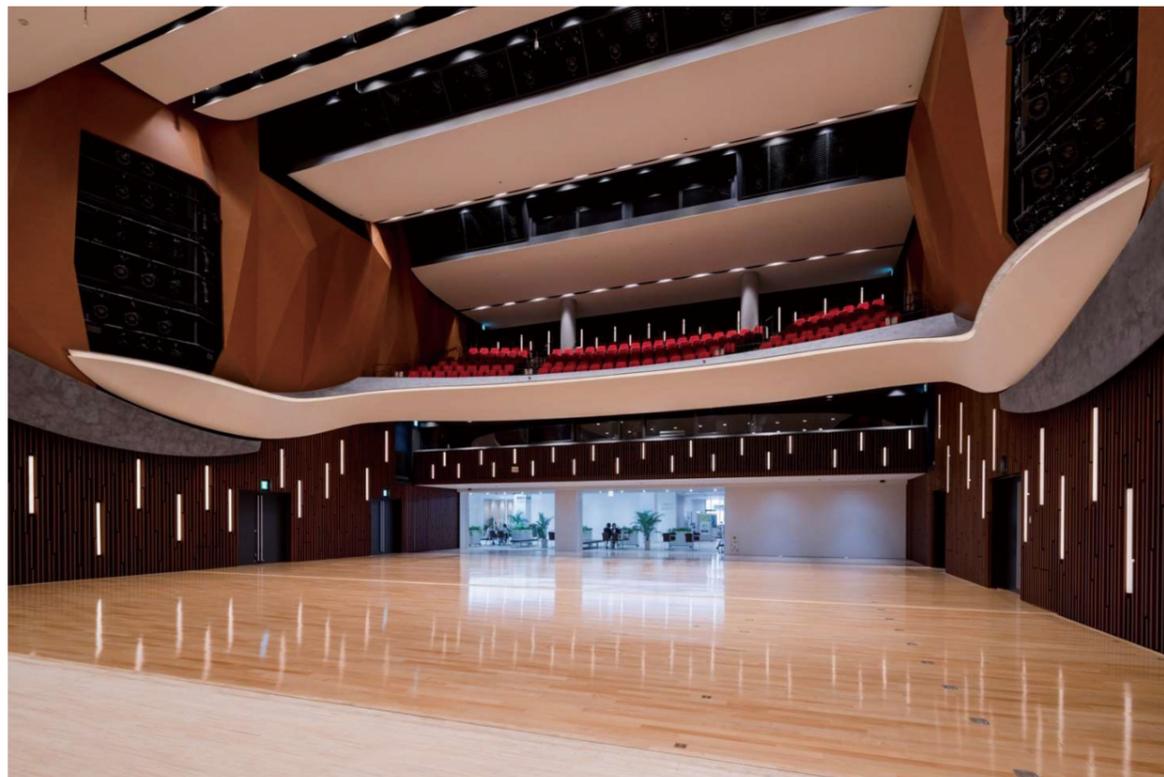
(2) くれ絆ホール



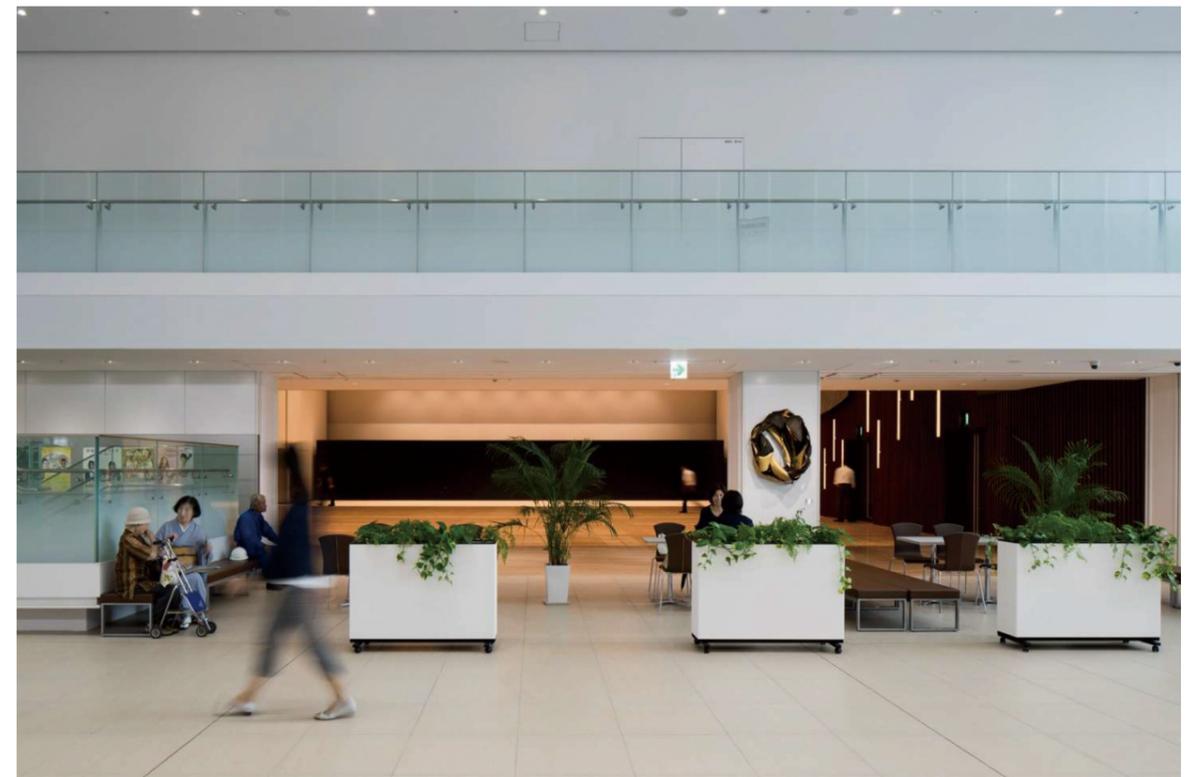
移動観覧席を舞台に収納した様子



ホワイエからホールを望む



ホールからホワイエを望む



ホワイエからホールを望む